

ヨーロッパ在住の稲葉氏がスロヴァキアでの競技会に参戦！

## ヨーロッパでの暮らし

まず初めに、今回の東日本大震災で被害を受けた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

ヨーロッパに来て早いもので4年半が経過しました。今年の6月末の帰国が決定し、残された時間で、可能な限りヨーロッパでのオリエンテーリングを経験したいと考えています。

まずは、3月下旬にスロヴァキアでの2日間大会に参加しましたので、簡単に報告させていただきます。

## スロヴァキアという国

皆さんご存知のように、1993年にチェコスロヴァキアから独立した国です。人口は約500万人。面積は日本の約8分の1ほどしかなく、日本と同じように山岳地帯が多いという特色を持っています。

## 今回のイベント

スロヴァキアでは500人以上のオリエンティアが集まるオリエンテーリング大会が年に3回あるそうで、今回はそのうちの一つ。首都ブラティスラバから北北東に50kmほど離れた小さな町で開催されました。

スロヴァキアの東の方に行くと氷河地形のドリーネが出てきます(2006年のユニバー、2012年のJWOCなど)が、今回のトレインにはドリーネはなく、非常にフラットで走りやすい高速トレインでした。

種目は、土曜日の午前中にミドル、夕方スプリント、日曜日にロングという最近ヨーロッパでよく開かれているパターンです。ゴールは全て同じ会場に設定されていて、運営の省力化も図られていました。

参加者は、地元スロヴァキアが8割くらい、近隣国のチェコ、オーストリアからも約2割、そして、ロシア、ハンガリー、フィンランドからも数人参



ロング種目男子エリートクラスの地図。  
16.7km up85m (登坂率0.5%)のコースがほぼすべて森の中で組まれている。  
日本ではまず考えられないような高速トレインだ。

加していました。もちろん、アジア人としては私一人だったのですが、しっかりと日の丸を会場に掲げてくれました。

4月もいくつかの大会に出場する予定です。

(稲葉英雄)

日曜日の午後、3種目の合計時間による上位3位までの表彰式も行われ、私自身もヨーロッパで初めて表彰台に上がることができました。(M45Aにて3種目とも同じチェコ人に負けて、3種目とも2位)

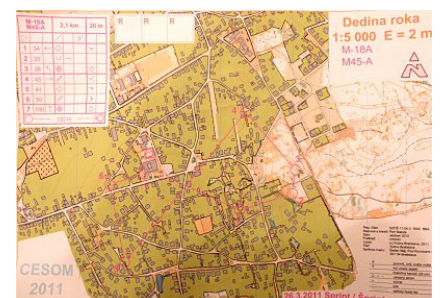
## 超フラットなトレイン

登りが極めて少なかった(0.5%)ことが自分にとって幸いしたものと思われる。まともな大会で1km当たりのタイムが6分を切った(ミドルで5分14秒、ロングで5分39秒)のも自分では初めてです。

あまり豊かではない国のせいか、会場の体育館のようなところに寝袋で宿泊している人や、学校の寮に宿泊している人もかなりいました。その寮は1泊素泊まり10ユーロでしたので、私も寮に泊まりました。おかげで同部屋だった若いオーストリア人3人も知り合いになることができました。そのうちの一人はオーストリアのナショナルチームに入っており、M21Eで3種目とも制覇していました。



会場に寝袋で宿泊しながら競技する参加者



スプリント種目は市街地を使ったレース